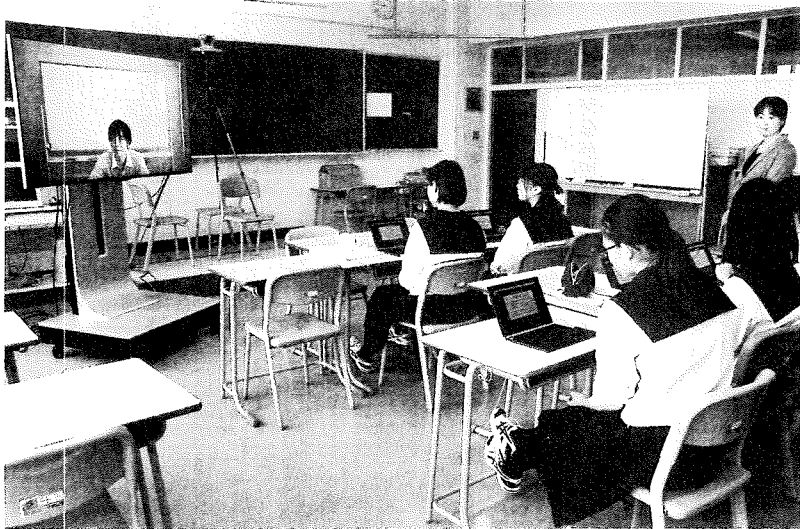


進学校の授業 地方の生徒に

道教委 昨年度から寿都、豊富高で生中継



遠隔授業に配られるタブレット端末。寿都高生が授業に活用している。道教委が導入している。

地方の小規模高校の生徒に、札幌の進学校の授業を提供する遠隔授業の取り組みが進められている。地方においても進学率の高い高校の教育が受けられる機会をつくり、大学進学を目指す生徒が自宅のある地域で高校生活を送れるようにする狙い。道教委が昨年度から始めた。遠隔授業はこれまで、教員が不足する地域で導入が進められてきたが、受験対策としても活用して、さらなる可能性を探りたい考えた。(報道センター 宇佐美裕次)

受験対策の可能性探る

スクリーンを通して札幌西高からの遠隔授業を受ける寿都高の生徒たち

7月中旬、後志管内寿都町の寿都高で、「ミニユニバーシオン英語」の授業が行われていた。南部真人教諭(36)が「Do you like swimming?」(あなたは泳ぎが好きですか)と質問し、生徒たち「I don't like swimming, because I don't like water」(水が嫌いなので、泳ぐのは好きではありません)などと答えた。

高山愛海さん(15)は「発音を指導してもらったと喜んだ。生徒にはタブレット型の端末も配られており、教諭は課題を配信。生徒が解答を入力すると即座に画面に正誤が表示されるようになっていた。

このシステムは、道が各振興局と結んで行うテレビ会議システムと同様の仕組み。寿都高は1学年1学級で、本来なら統廃合の対象になる小規模だが、道教委は地域の要望を受けて「地域キャンパス校」として維持。キャンパス校は最寄りの高校が教員派遣などで支援するが、大学進学を目指す生徒への対応として、難関大学への進学率が高

い札幌西高の英語授業を受けられるようになった。本年度は全生徒85人のうち、希望した15人が学年別に札幌西高の授業を週4コマ(1コマ50分)受けている。寿都高3年の斉藤嘉徳さん(17)は「リスニングや長文問題など、内容が受験に特化している役に立つ」と話す。遠隔授業をサポートする同高の佐藤尊教諭(42)「英語担当は札幌西高と同じ教科書、教材で、どれもレベルが高く、学習環境の違いを感じる」と指摘する。

札幌の進学校からの遠隔授業は、豊富高(宗谷管内豊富町)でも行われており、札幌東高(札幌市白石区)の数学授業が提供されている。本年度は豊富高生54人中、13人が履修し、叶内保教頭(42)は「ロボの速い端的な指導を受け、生徒の学力が伸びている。地元で子どもを育てたい保護者の希望にも応じたい」と話す。道教委は今後、両校での遠隔授業の効果を検証。実施教科や実施校の拡大については「成果をみながら考えてい」としている。

遠隔授業 全国に先駆け導入

全日制・定時制高校での遠隔授業

| 方式 | 取得単位 | 評価 |
|---|-----------------------------------|--------------------|
| 原則として生中継で質疑応答できる「同時双方向型」。録画した映像を使う「オンデマンド型」は病療養中の生徒らに限定 | 卒業に必要な74単位のうちの36単位が上限。対面授業を一定時間行う | 配信側教員が受信側教員と協議して決定 |

文科省は各自治体、定時制の高校での遠隔授業について、2015年度から正式な授業として認めることにし、これに先立ち15年度から、五つの道立高が文科省から研究開発校の指定を受け、全国に先駆けて遠隔授業を導入した。通信制や大学では既に遠隔授業を認めていたが、全日制、定時制高校は通学による教育を前提とし、不登校の場合を除き、遠隔授業を原則認められていなかった。

道教委は、授業は教員と生徒が直接対面して行うのが望ましいとの立場。ただ少子化に伴う教員数減が避けられ、多い教科は約20%に上る。だが冬季に雪が積もる道内は、移動の負担が大きい。道教委は対面授業の時間を緩和するよう求めており、文科省は夕張や礼文など道立高を対面授業を減らす遠隔授業校に指定し、本年度から4年間、成績評価や指導の方法などを研究する。

卒業単位数の上限については、政府の規制改革推進会議が今年4月、緩和を求める意見を出し、遠隔授業の本格的普及に向けた動きが加速している。

対面授業数緩和など課題

文科省は各自治体、定時制の高校での遠隔授業について、2015年度から正式な授業として認めることにし、これに先立ち15年度から、五つの道立高が文科省から研究開発校の指定を受け、全国に先駆けて遠隔授業を導入した。通信制や大学では既に遠隔授業を認めていたが、全日制、定時制高校は通学による教育を前提とし、不登校の場合を除き、遠隔授業を原則認められていなかった。